

新しい息吹で、新しい挑戦を！

校長 松本 雅史

新年あけましておめでとうございます。3学期が始まりました。

年の終わり、年の初めといった節目を昔から日本人は、とても大切してきました。節目とは、一つ一つの取組に区切りをつけて、気持ちを新たにすることです。節目のきっかけは、年や季節の変わり目であったり、学期のような学びの区切りであったりしますね。

人は、時として、新しい挑戦なんて何だか疲れるなどか、別に今のままでいいやとずるずる時間を重ねるだけになってしまうことがあると思います。今のままでいいというのですから、進歩も後退もないように思いがちですが、実はこれこそが衰えてだめになっていくリズムなのです。それを戒め、少しでも今の自分を保ちたいと考えるならば、今のままでいいという考えでは不十分です。ましてや、少しでも良くなりたい、もっと頑張れる自分になりたい、もっと優しい自分になりたい、もっともっと素敵で自分をつかっていきたいと思うのならば、自分を磨き高めるための挑戦がとても大切です。でも、挑戦を始めるにも何かきっかけが欲しいものです。そこで、昔から人は「節目」を新たな挑戦のきっかけとして大切にしてきたのです。

「字をきれいに書こう」でも「手をたくさん挙げよう」でもいいです。「本を何冊読もう」と数を決めて挑戦するもの挑戦の内容を分かりやすくする上でとてもいいです。サッカーを頑張っている人は、いつまでにリフティングが何回できるようになろうというような目標もいいですね。「いつまでに」ということを目標に入れると、自分の成長の手応えがより感じられるようになると思います。

私は、今年のチャレンジを「読書」にしました。コロナで人と会って話ができにくい状況が続いています。本当はいろいろな人と会って話して、ものの見方を広げ深めたいと思っているのですが、なかなかかかいません。その分、読書を通じてもっと自分を深めたいなと思っています。いい本があったら、また朝会などで皆さんに紹介しますね。

さて、年の始まり頃から、再び新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。3学期の始まりとともに、学校で感染を広げてしまうのではないかという心配の声が多いのも事実ですし、私も心配でなりません。大切なみんなの健康、ご家族の健康、そして教職員の健康が、いつおびやかされてもおかしくない状況です。

こうした状況だからこそ、この困難をみんなで気持ちを一つにして乗り越えていきたいと思います。そのために大切なことを3学期の始めに当たり、もう一度3点確認したいと思います。

一つ目は、「決して無理をしない」ということです。熱があったり、少しでも体調がおかしかったりしたら、無理をしないで休んで体調を整えてください。ご家族に体調が優れない方が出た時も、自分が元気でも休んで様子を見るようにしてください。

二つ目は、学校での生活です。自分が感染しないというだけでなく、自分は症状が出ていないだけで、もしかしたら感染しているかもしれないという気持ちを常にもって欲しいと思います。

具体的には今後も3つのことを守って欲しいと思います。

- ①マスクの着用
- ②手洗い・消毒
- ③大声の禁止

三つ目は、かかってしまった人が出てしまったら、みんなで心の中で回復を応援しようということです。コロナにかかってしまった友達やご家庭に対しては、一日も早い回復を応援する思いやりをもっていきたいと思います。かかってほしくはないけれど、万が一かかってしまっても、かかってしまった人が、みんなは自分を応援してくれているという安心感の中で治療や療養に専念できる五小でありたいと思います。

これで、3学期始業式の話が終わります。